

1. 担当 PM

首藤 一幸（東京工業大学 情報理工学院 准教授）

2. クリエータ氏名

小野 諒人（立命館大学 情報理工学部）

3. 委託金支払額

2,304,000 円

4. テーマ名

ダークウェブ統合分析プラットフォームの開発

5. 関連 Web サイト

なし

6. テーマ概要

ダークウェブの分析プラットフォーム、いわば検索エンジンのようなものを開発する。情報を収集するスキャナと、集めた情報の検索や可視化を行う分析システムから成る。クリエイターらが発案したスキャン方式も実装し、ダークウェブ上サーバのカバー率を高める。

7. 採択理由

ダークウェブは、ある種の技術を使って匿名で運営されているウェブサーバの総称である。このダークウェブを対象として、運営側の活動を分析する方法やプラットフォームを開発しようという提案であった。

匿名性のための技術を開発している側とのイタチごっこになる可能性があった。また、成果が出た際に、ただ広く公開すればいいものでもない、といった社会的な難しさもあった。より良い社会（僕らの幸せ）に直結する成果を期待した。

8. 開発目標

上記のプラットフォームを開発する。法執行機関やそこへの情報提供サービ

スが使えるレベルものを、試用可能なところまで開発する。

9. 進捗概要

以下の通り、現時点のダークウェブに対して、実地で使いものになる分析プラットフォームを完成させた。

- 分析システムを完成させた。
- スキャナは、既存手法を用いるものを完成させた。
発案した新規手法の実装は、今後行っていく。

成果報告会では、想定する使用例に沿ったデモを行った。

10. プロジェクト評価

実装上の障害もあり、新手法の実装までは完遂しなかったものの、現場で使えるレベルのプラットフォームを作り上げた。もう少し早く一旦の完成ができれば、プロジェクト期間中に現場（に近い状況）での試用まで達成できただろう。

11. 今後の課題

- 実地で活用してもらうこと
- 新規スキャン手法の実装
- 継続的な開発・メンテナンス（やその体制）